

発行日 2012年6月20日
発行責任者 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1
西新橋2丁目森ビル7階
TEL.03-6809-2034 FAX.03-3436-3666
<http://www.son.or.jp>



Special Olympics
Nippon

vol.
26

Rainbow

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 NEWS

スペシャルオリンピックス(SO)とは 知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと成果の発表の場である競技会を年間を通して提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。



2012年
第5回
スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム

福島





2012年第5回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・福島

2012年2月10日～12日

開会式



高円宮妃久子殿下



閉会式



レセプション ※猪苗代町主催



大会概要

大会名称 2012年第5回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・福島
 大会テーマ 心強く、心豊かに、心ひとつに、心うつくしまふくしま
 開催地 福島県郡山市、猪苗代町
 開催期間 2012年2月10日(金)～12日(日)
 参加地区数 33都道府県(含む2地区設立準備委員会)
 参加者数 アスリート/574名 コーチ・役員/320名 ボランティア/2,323名
 競技会場 沼尻スキー場、磐梯熱海アイスアリーナ、猪苗代町総合体育館(カメリーナ)
 実施競技 アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング、
 ショートトラックスピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケー

開会式

会場/猪苗代町総合体育館(カメリーナ)
 ●司会 町 亞聖 羽隅将一
 ●SO アンバサダー アポロ・アントン・オーノ
 ●SONDRUMサポーター 森 理世 萩原美樹子
 北澤 豪 柴田亜衣

閉会式

会場/猪苗代町総合体育館(カメリーナ)
 ●司会 唐橋ユミ
 ●SONDRUMサポーター 森 理世
 ●ゲスト 和合亮一

(敬称略)

多くの方々の強い意思と努力が この素晴らしい大会につながりました

2012年第5回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・福島

大会会長 有森裕子

(公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長)

今大会も、多くのボランティアの方々、ファミリーやアスリート、ご協力くださった企業や団体の皆様、スタッフ一同の力が結集し、充実感に満ちた素晴らしい3日間を過ごすことができました。まずは、福島の地でたくさんの笑顔に出会えたことが、何よりの喜びだと感謝しております。

昨年の東日本大震災、その後の原発問題など、一時は福島での開催を危ぶむ声も上がりましたが、福島の皆さんの熱い思いがこの大会を実現させる力となりました。「現実的な判断」と「思い」のバランスをいかにとるかということは難しいことではありましたが、多くの方々のご協力により、実現できたと感謝しております。また、どうなるかわからない中でも、可能性を信じて最高にできることをやりきっていくと、これだけのことが実現できるのだという大きな自信にもつながったと思います。

スポーツの大会は、「記録」と「記憶」の両方で人々の感動を呼ぶことができます。その点では、SOの大会も同じだとは思いますが、特にこの福島での大会は、人々の「記憶」に残る大会になったのではないのでしょうか。この記憶を第一歩として、福島をはじめ関わってくださった皆さんの新しい歩みの機会となることを願っております。本当に、ありがとうございました。



福島県民が復興への力強い一歩を 踏み出すきっかけになると信じています

2012年第5回スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・福島

大会実行委員長 佐久間 啓

(スペシャルオリンピックス日本・福島会長)

2012年2月10日から12日、スペシャルオリンピックス日本の冬季ナショナルゲームを福島で開催しました。地域の皆さんの皆様のご協力をいただき、何とか、この大会を開催することができました。

2011年3月11日の東日本大震災直後、原発の放射能問題で、様々な思いが交錯する中、実行委員会としては「今だからこそ決行したい」と一致団結し、6月に開催が決定しました。そして、震災から1年を待たずに、約半年で、この福島県で全国33地区から894人の選手団を迎えて、成功裡に大会を運営できたことは、大変意義深いことだったと思います。

高宮宮妃久子殿下にご臨席賜り、西田敏行さんや名取裕子さん、そしてドリームサポーターの皆さんが温かく開会式を盛り上げてくださいました。

この大会には、アスリート、コーチ、ファミリー、運営したスタッフ、多くのボランティアと、参加した全ての人々が、固い絆で結ばれ、心ひとつになり、素晴らしい感動と人々の強い心を感じたと確信しています。福島県民が復興への力強い一歩を踏み出すきっかけになると信じています。



アルペンスキー

会場:沼尻スキー場
参加アスリート数:172名

参加アスリート感想

佐々木陽右 (SON・岩手設準)

アルペンスキースーパーグライドの結果は、1位でした。ぼくは、うれしかったです。次の日学校へ行くと、先生や、クラスの友だちが、よろこんでくれました。ぼくは、金メダルを、みんなに見せました。担任の先生と、記念写真を、とりました。

斎藤 駿 (SON・神奈川)

僕はアルペンスキー大会に出場して銀メダルを取れました。初めてのメダルだったので、とても嬉しかった! 金メダルが欲しかったけど、銀メダルもすごく輝いてました。次の大会で金メダルが取れるようにプログラムに参加して頑張りたいと思います。



スノーボード

会場:沼尻スキー場
参加アスリート数:22名

参加アスリート感想

宝達巨城 (SON・石川)

スノーボードに出場しました。コースアウトをしないように頑張って滑り、銀メダルをもらうことが出来てとてもうれしかったです。大会では沢山の人達が応援してくれました。コーチ・ファミリー・スタッフの皆さん、福島の皆さんありがとうございました。

樋口敦都 (SON・愛知)

ぼくは、スノーボードをがんばりました。リフトののりました。ターンが、むずかしかったです。コーチが、おしえてくれました。うまくできて、とてもうれしかったです。スノーボードだいすきです。またふくしまに行きたいです。



クロスカントリースキー

会場:沼尻スキー場
参加アスリート数:21名

参加アスリート感想

須藤拓哉(SON・福島)

大会のあった2月11日は、僕がクロスカントリースキーを始めて、ちょうど一年の記念日です。大会では、新潟の選手のスピードの速さに驚きました。スケートをしているようにスイスイ進んで行く姿は、観ていても気持ち良かったです。僕は、まだまだ転んでばかりですが、また来年も頑張ります。

羽鳥浩一(SON・新潟)

ぼくは、雪国育ちです。クロスカントリースキーが大好きです。得意な走法はダイアゴナル滑走です。下りで負けても、平地や登りでは絶対負けない自信があります。世界大会に参加し、金メダルを取るのが夢です。ぼくは、世界大会に参加したいです。来年も、たくさん雪が降ってくれることを願っています。頑張るぞビョンチャン!



スノーシューイング

会場:沼尻スキー場
参加アスリート数:72名

参加アスリート感想

萬谷尚史(SON・山口)

福島大会で僕は、スノーシューイングで出場しました。予選はぶっちぎりの1位になったけど、決勝はデビジョニングが上に上がったため3位になってしまいました。4年後は次こそ1位になりたいと思います。

志田 将太郎(SON・宮崎)

まっ白な雪の中を走りました。吹雪で前が見えませんでした。バトンタッチがむずかしかったです。頑張って一生けんめい走りました。銅メダルをとりました。とてもうれしかったです。一生けんめい走りました。とても寒かったです。



ショートトラックスピードスケート

会場:磐梯熱海アイスアリーナ
参加アスリート数:51名

参加アスリート感想

原田慎之助 (SON・栃木)

僕は、SOの福島大会に参加しました。開会式前のヘルシー・アスリート®・プログラムでメガネを作ってもらいました。とても使いやすいメガネです。

開会式は、西田敏行さんが歌を歌ったり高校生の合唱の歌が良かったです。

僕は、スピードスケートの 25mに参加して金メダルを取りました。今度は、長い距離を滑って

金メダルを取るように練習します。3日間の大会はお父さんとお母さんとはなれて少し寂しかったです。でも、とても楽しかったです。

長坂晃一 (SON・山梨)

ナショナルゲーム福島では緊張しましたが、自分の力が出せ優勝して良かったです。

コーチありがとう。福島の皆さんありがとう。大会に関わって下さった皆さんありがとう。



フィギュアスケート

会場:磐梯熱海アイスアリーナ
参加アスリート数:44名

参加アスリート感想

小高梨佐 (SON・東京)

私が福島大会で一番印象に残っているのは、フリーの「スイズル」です。いつもより大きく演技できました。一人でリンクの上に乗って滑ったことも印象に残りました。

表彰式でメダルをもらえるように頑張りました。

佐藤拓弥 (SON・兵庫)

福島大会でフィギュアスケートに出ました。ドキドキしました。いっぱい練習をしました。金メダルが取れて嬉しかった。ホテルで、みんなでダンスを踊りました。楽しかった。友達もいっぱいできました。これからもスケートがんばります!



フロアホッケー

会場:猪苗代町総合体育館(カメリーナ)
参加アスリート数:192名

参加アスリート感想

杉森建彦(SON・富山)

僕にとってもチームにとっても初めての金メダル。しかもディビジョニング全敗からの奇跡の金メダルです。僕はシュートも決めました。とてもうれしかったです。チーム全員で勝ち取ったメダル最高です。コーチ、DAL、福島 皆さんありがとうございました。

前田 憲二(SON・徳島)

福島の皆さん、ボランティアの皆さんありがとう。有森さん西田さんとハイタッチができて嬉しかった。優勝はできなかったけど、みんなで頑張り2位になった。交流会でみんなと交流し僕達は阿波踊りで盛り上がって楽しかった。



ヘルシー・アスリート®・プログラム

会場:猪苗代町体験交流館(学びいな)
参加アスリート数:413名

ヘルシー・アスリート®・プログラム(HAP)は、アスリートがトレーニングや競技をする能力を高めること、そして生活の質を向上することを目指しており、競技会の際に楽しい雰囲気の中で様々な種類の健康チェックを受けることができるプログラムです。

大会期間中の2月10日～11日の2日間で、大会参加アスリート、応援参加アスリートを対象に、地元福島を中心に多数の医療専門家ボランティアの参加を得て、6部門(筋力・柔軟性改善、視力、聴力、口腔、足、栄養・生活習慣)を行いました。



体験プログラム

2月11日(土)、沼尻スキー場にてスノーシューイングの体験プログラムを実施し、総勢14名の知的障害のある方とボランティアがペアになってプログラムを楽しみました。体験プログラムは、本大会に参加していないSOアスリートや、知的障害のある方を対象に、SOスポーツプログラムを体験してもらい、交流を通じてスポーツの楽しさやSOを知ってもらう機会としています。



選手団交流会

大会2日目の2月11日の夜、各宿泊会場で、選手団同士の交流を深めるための「選手団交流会」が行われました。のんびり館、清稜山倶楽部、平澤屋の3会場では、それぞれボランティアの皆さんが工夫を凝らしたゲームや音楽、ダンスなどが行われ、楽しいひと時を過ごしました。



大会開催までのイベント

採火式

2011年8月27日(土)採火式と分火式を開催しました。磐椅神社にて聖火を採火し安全法要祈願をした後、土津神社にて全国から参加した13の地区組織に火を分ける分火式を開催しました。その後スペシャルオリンピックスの認知度を高め、協力、支援の輪を広げるトーチラン(聖火リレー)が土津神社からスタートし、猪苗代町内約2.5キロのコースを多くの参加者が走り抜けました。



記者発表

2012年1月24日(火)、郡山ビューホテルにて冬季ナショナルゲーム・福島での記者発表会を開催しました。有森大会会長の挨拶や佐久間実行委員長の決意表明、また出場アスリートが目前に迫った大会への意気込みを語りました。ドリームサポーターの森理世さん、萩原美樹子さんによる応援メッセージもいただきました。



勇気をくれたSONドリームサポーター

2007年ミスユニバース世界大会優勝

森 理世さん

大きな被害を被っている福島での大会でしたので、いろいろな感情が入り混じったとても特別な大会でした。福島の方々の前向きで、より良い地元を作っていこうとされている想いからも、日本の誇らしさをいただきました。

雪国出身ではない私は東北の冬を理解していません、メダルの授与式でゲレンデへ行ったとき、

ほとんど普段と同じ服装で行ってしまい、とても寒い経験をしました(笑)。でも、誇らしげにメダルを受け取るアスリートの皆さんを見たら、寒さなんて忘れてしまいました。また、ボランティアの皆さんの心の温かさにも触れ、今回もまた、たくさんの感動をいただきました。SONは、私にとって心から応援できる存在です。アスリートの皆さん、これからも一步一步を大切に歩いてください。一步一步を踏み出すのが怖くなったら、そのときはそっと背中を押させてください。応援しています!



アトランタオリンピック日本女子バスケットボール

萩原美樹子さん

3・11以来、大変な思いをしている故郷ですが、この地で大会を開催するためご尽力された多くの方々、風評に惑わされず参加したアスリートやコーチ、ボランティアの方々、みんなの思いが一つになった素晴らしい大会で、近年ないくらいの感動を覚えました。この大会に参加できたことを、心の底から誇りに思います。

スノーシューイングの体験プログラムでは、パディを組んだ猪苗代のアスリートがとても足が速く感心しました。彼の学校の先生方がのぼりを持って、笑顔と大声で応援されていたことも印象的でした。皆さんと写真を撮ったのが、素敵な思い出です。SONは、スポーツに携わる者として、人間として、忘れがちな原点を思い出させてくれる大切な場です。アスリートや周囲の方々からの笑顔に励まされ、勇気づけられることも多く、自分も頑張ろうという気持ちになります。いつでも応援しています!

元サッカー日本代表

北澤 豪さん

綺麗な雪景色の猪苗代町の開会式会場に着ると、まず、とても寒いにもかかわらず笑顔いっぱいのボランティアの皆さんが温かく迎えてくれました。聞けば、朝から会場づくりをし、降り続く雪を除雪し道を作っていたそうです。そして、会場は久しぶりに会うアスリートの熱気で満ち溢れていました。僕は、アスリートとともに聖火をつ

なぐトーチランナーとして会場を走ったのですが、震災から1年も経っていないなかで準備をし、全国からの選手団を心から待ちわびていた福島県の皆さん、そして全国から福島県とアスリートを応援しようと集まった皆さんの気持を感じて胸が熱くなりました。

僕はサッカーを通じて世界中の子どもたちと交流をしています。これからもスペシャルオリンピックスの活動を応援してたくさんの笑顔に出会えることを楽しみにしています。



アテネオリンピック競泳金メダリスト

柴田亜衣さん

スペシャルオリンピックス日本のドリームサポーターとして、2011年夏季世界大会・アテネの結団式から活動を応援しています。今回、初めてナショナルゲームの開会式に参加させていただいて、アスリートの笑顔とボランティアの皆さんの温かさに大きな感動をもらいました。特にアスリートの皆さんの、翌日からの競技が待ちきれ

ない!という気持ちと今まで一生懸命練習に励んできたことが伝わる充実した表情からは、私自身が現役時代に臨んだ時の気持ちを思い出しました。そして、開催地福島県の皆さんの「ようこそ福島へ!」という歓迎の気持ちにも心打たれ、参加する全ての人が良い表情をしていることが、スペシャルオリンピックスの理念なのだと感じました。

皆さん、たくさんの感動をありがとうございました!これからも応援しています。

2012年スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島の広報活動

今回のナショナルゲームでは、地元メディアに大きく取り上げていただき、福島県をはじめ、全国にSO活動を広く周知することができました。

また、ナショナルゲームでは初めてUSTREAMを通じて、大会の様子をライブ配信し、全国で応援している皆様にもリアルタイムでSONナショナルゲームをご覧いただくことができました。

USTREAM

大会期間中(3日間)の合計視聴数 20,445回
1回目2,902回/2回目1,322回/3回目16,111回

新聞掲載

49社、230件
※2012年4月20日時点

テレビ報道

テレビユー福島、福島放送、福島中央テレビ、福島テレビ、NHK福島、山形放送

大会コマーシャル

CM協賛企業・団体18社

大会を支えてくださったボランティアの方々

県内・県外から2,323名のボランティア参加！選手団のサポート、そして大会運営に協力いただきました！



【案内・誘導】 会場内だけでなく、駐車場への案内・誘導や除雪などをご担当いただきました。時には強風で雪も舞う寒さの中で、まさに大会を支えてくださった方々です。



小野薬品労働組合
伊関勉さん 角田明仁さん

駐車場の案内をしていますが、アスリートは元気よく「ありがとうございます」と挨拶してくれます。その明るい笑顔が嬉しいです。これまでも地区の合宿や大会などのボランティアを通じ、アスリートの頑張っている姿を間近で見ているので、少しでも役立っていると思うと寒さも吹き飛びます。

from 大阪



【設営】 各競技場では、スムーズに競技が進むよう設営の準備・選手の案内・後片付けを担当いただきました。

株式会社スリーボンド 小平信也さん



from 東京



ボランティア自体初めてで、最初は不安もありましたが、3日間とても楽しく充実していました。アスリートの純粋な笑顔、それを応援している人々の笑顔、会場で笑顔があふれていたのが印象的です。これをキッカケにして、これからもいろいろな機会でも協力していきたいと思いました。





【DAL】 大会期間中、選手団が競技に専念できるよう選手団と行動を共にし、サポートしていただきました。



from 東京

ドイツ銀行グループ 渚 久人さん

以前から話には聞いていたのですが、実際に参加してみて、本当にアスリートが一生懸命頑張っていて、その姿に元気と勇気をもらいました。担当したアスリートがゴールした瞬間は、すっかり家族の気分で「よっし」と力が入ります(笑)。コーチの方々も日頃はさまざまな仕事をされている方たちなので、そんな交流も楽しい時間になりました。

JPモルガン証券株式会社 狩野まおりさん



from 東京

全員表彰されるところなど、他のスポーツ大会とはまた一味違う「楽しむ」雰囲気にもあふれていて、とてもいいなと思いました。応援も楽しいです。日頃、人見知りする性格の私ですが、明るく元気に寄ってきてくれるアスリートや、気軽に話をしてくださるファミリーの方々との出会いで、自分を見つめ直す機会にもなりました。



【表彰】 練習の成果を発揮した全てのアスリートを表彰するので、その表彰式がスムーズに行えるよう、アナウンス、アスリート誘導、メダル運びなどを担当していただきました。



from 東京

株式会社ユニクロ 井口典子さん



前回の山形大会に参加して、すっかり SONのファンです。都庁でのトーチランや岡山でのボウリング大会、大阪での表彰式など、各地で参加させていただいています。地元の人々と心をつなげて作りあげることを実感できるのが最大の魅力でしょうか。今回も、福島を盛り上げようと全国からたくさんの方が集まっていて、本当に楽しい3日間でした。

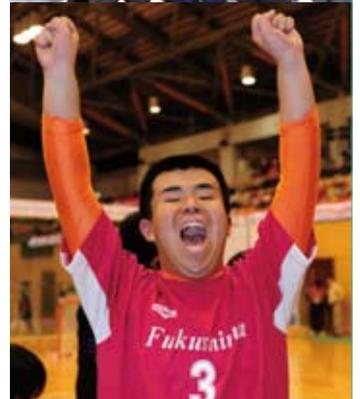


Message from 福島

福島から生まれた感動を全国へ発信!

地元の方々の開催への強い気持ちと、全国からの温かい応援を受けてナショナルゲームの開催地となった福島で、参加したアスリート、コーチ、ファミリー、ボランティア、そして大会を支えた全ての人達の心がこの地でひとつになりました。そして福島だからこそ生まれた感動がありました。

福島から全国へありがとう。そして全国から福島へありがとう。



俳優 西田敏行さん

**ようこそ福島へ! 皆さんの挑戦する姿、熱い想いが復興の力になります!
スペシャルオリンピックスの皆さんありがとう!**



SON・福島選手団

団長

吉田一也さん

誰よりも、何よりも、 贅沢な3日間をありがとう!

福島での開催は感慨深いものがありました。限られた時間の中での選手団としての準備、地元開催としてのプレッシャー、様々な葛藤もありましたが、SONや実行委員会の皆様のご尽力や励ましのおかげで、立派な選手団を編成することができたと思っています。大会終

了後は、周囲からSOの話がされることも多くなり、一気に認知度が上がったと実感しています。選手団長としては、アスリートが無事に競技を終え、たくさんの笑顔を見ることができたこと、誰よりも贅沢な大会3日間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。



SON・福島選手団

アスリート

澤田さゆりさん(フロアホッケー)

「命輝く時間(とき)」

どんなつらいことがあっても
命の輝きは忘れないで欲しい
どんな壁にぶつかってもいい
決してあきらめなければ
どんな障害や病気をあっても
いつか自分の努力を
多くの人に伝えたい

それは字でも絵でも形でも
言葉でも気持ちでも
手話でも点字でもいい
自分の表現のしかたがあればいい
その努力がいつか
多くの人達に伝わって
日本から世界へ伝わるまで
命輝き続けよう

※開会式で朗読された詩です。



地元企業ボランティア

富士ゼロックス福島株式会社

吉井誠さん 横田貴之さん

紆余曲折ながら実現したトーチラン。 ゴールしたアスリートの笑顔が最高!

福島ではSONの知名度は低かったので、まずはどんなことをしているところなのか、トーチランを通じて知ってもらいたいと参加しました。放射能の件などもあって屋外だけでなく屋内を使うなど、トーチランのルートをどう設定するか準備はいろいろ大

変でした。でも、ゴールをした瞬間のアスリートの笑顔は本当に素晴らしいかったです。大会期間中は、全社を挙げ開会式から閉会式まで延べ100人の社員でお手伝いしました。全国から来た皆さんが喜んで帰ってもらえたことが、何よりです。



大会実行委員
クロスカントリースキー・
スノーシューイング
エリア会場担当
 佐藤幸司さん
 (ゼビオ株式会社より出向)

**「一人では何もできない」を実感。
 皆様のご協力、本当にありがとう!**

大会会場などがだいたい決まりかかった頃に東日本大震災。1か月すべてがストップし、振り出しに戻りました。でも、全国の選手団にアンケートをとったところ、ほとんどの人が「ぜひ支援したい」と言ってくださって、これはやるしかない!と。自分自身、初めてのスポーツイベントだったので、イメージがなかなかかわがらずに苦労したのも事実です。だからこそ、自分ひとりでやるのではなく、た

とえばスキーならスキー連盟の方にご協力いただくなど、周囲の詳しい人たちの協力を仰ぎながら作り上げてきました。当たり前のことですが、一人では何もできないということを改めて痛感し、チームワークの大切さを実感しています。雪上競技は、すべてを一つの場所で見られるように、この大会のためだけに重機を入れて大改造していただきました。ぜひ楽しんでいてもらいたいです。



SON・福島選手団
アスリート
 伊藤公昭さん(フロアホッケー)

**大好きなSONの活動。
 キャプテンとして頑張ります!**

練習がなかなかできないときもありましたが、SONの活動は大好きです。フロアホッケーでは、点を取られないようにガードしたり、味方にしっかりパスが繋がったりする瞬間が楽

しいですね。SONの活動で、いろいろなところに行けるのも楽しみの一つ。キャプテンとしてみんなを見守り、頑張ります。



地元高校生ボランティア
郡山商業高校
 野球部の皆さん

**日頃の自分たちも、多くの人に
 支えられていると実感しました!**

野球部の監督から薦められてみんなで参加してみました。今回、スペシャルオリンピックスを初めて知ったのですが、アスリートの人たちの熱気がすごくて、楽しいです。みんな本当に真剣で、普段から一生懸命練習していることが伝わってきました。また、フロアホッケーの試合

の進行や記録などを担当し、裏方の仕事の大変さを実感しました。日頃自分たちはプレーする側ですが、こうやって周囲の人のサポートがあって試合ができるんだということを改めて実感。良い機会になりました。これからは皆さんに感謝していきたいと思います。



地元ゲスト
詩人
 和合亮一さん

決意

福島に風は吹く
 福島に星は瞬く
 福島に木は芽吹く
 福島に花は咲く
 福島に生きる

福島を生きる
 福島を愛する
 福島をあきらめない
 福島を信ずる
 福島を歩く

福島の名を呼ぶ
 福島を誇りに思う
 福島を子供たちに手渡す
 福島を抱きしめる

福島と共に涙を流す

福島に泣く
 福島が泣く
 福島と泣く
 福島で泣く

福島は私です
 福島は故郷です
 福島は人生です
 福島はあなたです

福島は父と母です
 福島は子どもたちです
 福島は青空です
 福島は雲です

福島を守る
 福島を取り戻す
 福島を手の中に
 福島を生きる

福島に生きる
 福島を生きる

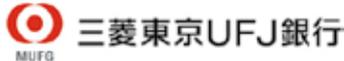
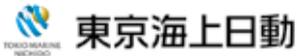
福島で生きる
 福島を生きる

福島で生きる
 福島を生きる

※閉会式で朗読していただきました。

2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島

協賛企業・団体



■助成金

全国生活協同組合連合会、全労済、(独)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成、(財)東京メソニック協会、スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、スペシャルオリンピックス国際本部

■メディアパートナー

福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、エフエム福島、郡山コミュニティ放送

■特別後援

福島県、郡山市、猪苗代町

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 寄附・協賛・支援企業団体一覧



■ ナショナルパートナー

日本アムウェイ合同会社、(株)ユニクロ、ヤフー(株)、ソニー生命保険(株)、アディダス ジャパン(株)、(株)ウィルコム、富士ゼロックス(株)

■ ウェブサイトパートナー

サイエントグループ

■ プレミアスポンサー

日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、銀座ステファニー化粧品(株)、日本GE株式会社 GEキャピタル、日本コカ・コーラ(株)

■ マーケティングパートナー

(株)インヴェル・ジャパン

■ フレンドシップスポンサー

(社)日本フードサービス協会、(株)NTTドコモ、東京海上日動火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株)、明治田舎生命保険相互会社、(株)セイブシステムリンク、(株)スリーボンド、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)、三井物産(株)、日本生命保険相互会社、リシュモンジャパン(株)、SCSK(株)、医薬品産業労働組合連盟、ドイツ銀行グループ、ニホンモニター(株)

■ マーケティング支援企業

ファミマクレジット(株)、(株)オニザキコーポレーション

■ 助成金

スペシャルオリンピックス冬季世界大会長野記念資金、(財)東京メゾニック協会、全国生活協同組合連合会、全労済、スペシャルオリンピックス国際本部、(独)日本スポーツ振興センター

■ 寄付・協賛

ICAP東短証券(株)、(財)三井銀恩会、東京マラソンチャリティ「つなぐ」、末日聖徒イエスキリスト教会、トヨタ輸送(株)、トヨタ協賛会、JX日鉱日石エネルギー(株)、ピーアークホールディングス(株)、(株)セイブシステムリンク主催チャリティオークション、イービーエスマーケティングリソースジャパン(株)、大阪マラソン組織委員会、(社)日本ボウリング場協会、(株)マッシー、日本オラル(株)有志の会、AGCセラミックス(株)、(株)ライフ、(株)プリチストン、共同カイテック(株)、三和グループ社会貢献倶楽部、大同生命社会貢献の会、(株)ギフトグッズ、明治神宮崇徳会、エムサービス(株)、JAIFA東京住友会、UIゼンセン同盟、(株)アップフロントワークス、(株)ファーストコレクション、プラザーズ(株)、クンセラブアース倶楽部、(株)三菱東京UFJ銀行社会貢献基金、JR東労組、MDRT日本生命分会、(株)青山サロン、ユニクロUTXスペシャルオリンピックスチャリティプロジェクト、MDRT日本会 MDRT Foundation-Japan、日本オーチス・エレベータ(株)、富士ゼロックス端数倶楽部、富士ゼロックス チャリティゴルフ大会、MDRT日本会事務所、One by One こども基金、鹿児島県立串木野養護学校職員有志一同、(株)安藤忠雄建築研究所、(株)スポーツニッポン新聞社、トリアスロンボーイズ有志一同、ライオンズクラブ国際協会第3回335複合地区女性会員、KDDI(株)+αプロジェクト、聖隷クリストファー大学大学院修士課程2009年度卒業生一同、ロート製薬 カルガモ基金、東京都遊技業協同組合青年部会、(特活)チャリティプラットフォーム、(財)ジャストギビング・ジャパン、St.Andrews Society、学習院同窓会 桜友会、大阪南口ターリクラブ、東京ウイメンズクラブ、東京ビジネスネットワーク、東京海上フィリハーモニックオーケストラ部、(株)ソニックジャパン、エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ(株)、スペシャルオリンピックス支援コンサート実行委員会、(特活)千楽 chi-raku、国際ロータリー第2750地区インターアクト年次大会実行委員会、東京タワー-SO応援ブース会場募金、サイバーソリューションズ(株)、JAIFAオールソニー会、軽井沢チャリティーコンサート実行委員会、大阪プラムライオンズクラブ、日韓交流おまつりチャリティ募金、国際ソロプチミスト大阪・東、(株)小林事務所、東京西ウイメンズクラブ、八王子東京パイロットクラブ、UBS銀行チャリティゴルフ、UBS証券会社、大和ハウス工業(株)、シチズンホールディングス(株)、(有)難波アソシエイツ、川崎市立養護学校PTA、社会福祉法人つくばねおおぼん、日本聖公会 九州教区女性の会、富士ゼロックス埼玉端数倶楽部、富士ゼロックス埼玉(株)、(株)キャンディッド・コミュニケーションズ、(株)トール、東急スポーツオアシス江坂店カッパーズ、(株)S.D.B.B.、ソフトバンクモバイル(株)、東急スポーツオアシス住吉店クラブ脱水、ディー・エイチ・エル・ジャパン(株)、(株)ソーシャル・バイス・カンパニー、ITC日本リーグジョンカウンスルNo.2、(株)スマイルズ、11th FINE WINE CHARITY AUCTION TOKYO、La Festa Autunno 2011会場募金、(株)あおぞら銀行、J.P.モルガン、三菱UFJ投信株式会社タネタネフレンズ会

■ SOメイト

(株)損保ジャパン企業保険サービス、(株)キャリアビューロー、(株)ワークスアプリケーションズ、三井婦孺、(株)スワロウスキー、テラーメイドゴルフ(株)、(医)慈葉会、(株)ル・プロジェ、(株)オオバ工務店、富士ゼロックス福島(株)、富士ゼロックス福島端数倶楽部、(有)オフィス古泉、大同生命(株)郡山支社、(株)ゴールドウィン、ヨネックス(株)、お祭り広場 原沢染夫、三日月総業(株)、神奈川県ボウリング場協会、大安興業(株)、関東化成工業(株)、セイコーエプソン(株)、富士ゼロックス長野(株)、(株)ティアマリア、JA長野県グループ、長野大学、ホクト(株)、丸美食品工業(株)、(株)サーキットデザイン、国際ソロプチミスト佐久、(社)新潟県産業廃棄物協会、リントク(株)、(株)加藤自動車相談所、(公財)徳島県福祉基金、徳島青年会議所、阿波総合開発(株)、徳島新聞社、ヒューマンボランティア協会

■ 協力

(株)アイデアレント(篠塚正典)、(株)マック、(株)RIGHTS、(株)ライゾマティクス、(株)ジャパン通信社、(株)フォートキシモト、(株)オズマビーアール、トライアングル企画、ルーデンス(田川正一)、(株)ディレクターズシステム、志童晃一、山下泰裕、王貞治、原辰徳、松浦亜弥、森理世、萩原美樹子、堀尾正明、森島寛晃、小林研一郎、加藤良三、為末大、中田英寿、井上康生、国枝慎吾、宇津木妙子、小谷実可子、杉山愛、喜多ゆかり、荒川静香、SHIHO、中野貴、有働由美子、上野由岐子、柴田聖衣、水島寿忠、森田智己、久保田智子、西田敏行、名取裕子、和合亮一、アポロ・アントン・オーノ、北澤豪、吉永小百合、町亞聖、羽岡将一、唐橋ユミ、小糸恵介、財団法人日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、メディアセンス(株)、(株)ジェイブレイン、デルタ航空、I&OTHERS、クーバー・コーチング・ジャパン、富士ゼロックス東京(株)、セイコーエプソン(株)松本事業所、(株)セールスフォース・ドットコム、第一貨物(株)、エフピコ物流(株)、(株)富士通東北システムズ、(有)サポートプランニング、日本電波塔(株)、通天閣観光(株)、三越銀座店、(株)ステディスタディ、Sun Design Group、クロエ青山店、(株)WILD FLOWER TOKYO、マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク・ジャパン、(株)伊東屋、セイコーホールディングス(株)、セイコーロック(株)、(株)ワンウェイ、(株)テイクアンドグヴ・ニュース、本栖湖ファンデレイジングマラソン実行委員会、NPO法人STAR POWER、SCSK社会貢献活動クラブ Earth One、日本ユニシス(株)、日本ユニシスグループ社会貢献クラブ「ユニハート」、MARON BOUILLIE、SONサポーター丸の内女子会、キャンソマーケティングジャパン(株)、城山電子(株)、(株)JAMMY、(株)ラナ、セビオ(株)、あかほスバルグループ、日本ハルーン協会

■ 個人寄付

一家明成、坂本精志、村上雅則、細川佳代子、三井婦孺、新宅正明、坂本哲男、藤本和延、荒島俊之、中井梅雄、津川清、庄恵美子、須田道雄、宮崎恭一、横濱信一、篠原浩一郎、川上優子、小玉敏子、岡田浩子、塚田こうじ、米澤喜美子、小山内清孝、竹内清文、宮寺、三浦勝、齊藤龍二、齊藤猛雄、師岡文男、酒井雅之、中根健治、近藤和子、佐野貴昭、鈴木千代子、沖かんな、宇津木妙子、土井紫生、小林廣久、平井暁子、福田光伸、中村哲也、玉城裕士、小西淑人、加藤幸太郎、岡本元美、岩崎真揮、立本宗一、藤井浩一、大河原毅、大河原愛子、チャールズナッシュ、高石好志、渡部知子、伊藤恭二、陣野社太郎、海野達也、宮直史、西出陽子、山中真佐子、松山幸子、益田直美、福元卓之、ロイファウチ、廣訪俊二、南正美、加藤武文、宮北幸代、菅間隆夫、田所健作、藤田治、宮内和廣、鈴木久和、岩地馨、小林益久、真田悦子、吉田秀夫、山口計子、横川浩、SON主催第1回エルランご参加の皆様、SON主催エルートーク クリスタルナイトご参加の皆様、エル募金ご協力の皆様



いよいよ開催! 2013年スペシャルオリンピックス 冬季世界大会・ピョンチャン

2013年1月29日～2月6日に開催される、冬季世界大会・ピョンチャンへ日本選手団86名(予定)を派遣します。
「2012年第5回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・福島」に参加したアスリートの中から選考された日本選手団が、
福島から世界の舞台へ挑戦します。是非、アスリートへ皆様の温かい応援宜しくお願いします。



大会名称	2013年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・ピョンチャン
開催時期	2013年1月29日～2月6日
開催地	大韓民国 ピョンチャン(平昌)、カンヌン(江陵)
予定参加者	113カ国より アスリート 3,300名 / ボランティア7,800名
日本選手団	アスリート 61人(予定) / コーチ・役員 25人(予定)
大会URL	http://www.2013sopoc.org/hb/en
競技	7公式競技/日本選手団は全7競技に参加 ●アルペンスキー ●スノーボード ●クロスカントリースキー ●スノーシューイング ●ショートトラックスピードスケート ●フィギュアスケート ●フロアホッケー
会場	雪上競技会場………Alpensia, Yongpyong Resort 氷上競技会場………Indoor Ice Rink, Inline Rink フロアホッケー会場…Gangneung Sports Center Gymnasium of Kwandong



チャリティーグッズ SOシューレースでつながろう!

“Wear the Laces”

スペシャルオリンピックスのオリジナル・シューレース(靴ひも)を身につけることで、
SOファンであることを表すと同時に、気軽にSOを支援することができます。



SOシューレース

スペシャルオリンピックス日本

エール募金

全国のアスリートに
エールを送ろう!



エール募金

www.son.or.jp/bokin

スペシャルオリンピックス日本

企画マーケ チームブログ



Facebook

全国のSOファンと情報交換しよう!



Twitter

スペシャルオリンピックス日本を
フォローしよう!

@so_nippon



公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

スペシャルオリンピックス日本は 2012年 4月 1
日より 公益財団法人として新たにスタート致しま
した。今後とも皆様の温かいご支援ご協力宜し
くお願い致します。

なお、所在地に変更はございません。
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-22-1
西新橋 2丁目森ビル 7階
TEL: 03-6809-2034/FAX: 03-3436-3666

スペシャルオリンピックス の使命

スペシャルオリンピックスの使命は、知的障害
のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技
種目に準じたさまざまなスポーツレーニングと競
技の場を提供し、参加したアスリートが健康を
増進し、勇気をふるい、喜びを感じ、家族や他
のアスリートそして地域の人々と、才能や技能
そして友情を分かち合う機会を継続的に提供す
ることです。

スペシャルオリンピックス日本 のビジョン

スペシャルオリンピックスは質の高いスポーツ
レーニングと競技会を通じて、知的障害のある
人々と触れ合うすべての人々が感動を共有し、
各地区に根付いた全国的な運動となることを目
指します。

スペシャルオリンピックス日本